

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公表番号】特表2007-515384(P2007-515384A)

【公表日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2006-520982(P2006-520982)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/43 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/4188 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/20 (2006.01)

C 1 2 N 1/14 (2006.01)

C 1 2 N 5/00 (2006.01)

C 1 2 N 7/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 37/48

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/4188

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 1/20 Z

C 1 2 N 1/14 Z

C 1 2 N 5/00 Z

C 1 2 N 7/02

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月4日(2007.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

目的とする標的分子または標的細胞と結合することができる少なくとも1つの配位子を含む組成物であって、前記少なくとも1つの配位子は、コーディネーターイオンまたはコーディネーター分子と同時にインキュベーションされたときに非共有結合性複合体を形成す

るために組成物を導くことができる選択された少なくとも1つの配位成分に結合している組成物。

【請求項2】

目的とする標的分子または標的細胞を精製する方法であって、

(a) 目的とする標的分子または標的細胞を含むサンプルを、

(i) 少なくとも1つの配位成分に結合している、目的とする標的分子または標的細胞と結合することができる少なくとも1つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも1つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーターであって、前記少なくとも1つの配位成分および前記コーディネーターが、同時インキュベーションされたときに複合体を形成することができるコーディネーター、

とを含む組成物と接触させること；および

(b) 目的とする標的分子または標的細胞に結合した前記複合体を含む沈殿物を集め、それにより、目的とする標的分子または標的細胞を精製することを含む方法。

【請求項3】

対象における目的とする分子に関連する疾患に対する素因またはそのような疾患の存在を検出する方法であって、対象から得られた生物学的サンプルを、

(i) 少なくとも1つの配位成分に結合している、目的とする分子と結合することができる少なくとも1つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも1つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーターであって、前記少なくとも1つの配位成分および前記コーディネーターが、同時インキュベーションされたときに複合体を形成することができるコーディネーター

とを含む組成物と接触させることを含み、

目的とする分子を含む前記複合体の形成により、対象における目的とする分子に関連する疾患に対する素因またはそのような疾患の存在が示される方法。

【請求項4】

目的とする分子を結晶化させるための組成物であって、

(i) 少なくとも1つの配位成分に結合している、目的とする分子と結合することができる少なくとも1つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも1つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーター

とを含み、

前記少なくとも1つの配位成分および前記コーディネーターは、同時インキュベーションされたときに複合体を形成することができ、一方で、組成物は、目的とする分子に結合したとき、目的とする分子の相対的な空間的な位置決定および配向を規定し、それにより、結晶化を誘導する条件のもとでそれからの結晶の形成を容易にするように選択される組成物。

【請求項5】

目的とする分子を結晶化させる方法であって、目的とする分子を含むサンプルを、

(i) 少なくとも1つの配位成分に結合している、目的とする分子と結合することができる少なくとも1つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも1つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーター

とを含む結晶化用組成物と接触させることを含み、

前記少なくとも1つの配位成分および前記コーディネーターは、同時インキュベーションされたときに複合体を形成することができ、一方で、前記結晶化用組成物は、目的とする分子に結合したとき、目的とする分子の相対的な空間的な位置決定および配向を規定し、それにより、結晶化を誘導する条件のもとでそれからの結晶の形成を容易にするように選択される方法。

【請求項 6】

目的とする分子と結合することができる第 1 の領域と、コーディネーターイオンまたはコーディネーター分子と結合することができる第 2 の領域とを有する分子を含む組成物であって、前記第 2 の領域は、前記コーディネーターイオンまたは前記コーディネーター分子にさらされたとき、前記分子がポリマーを形成するように設計されている組成物。

【請求項 7】

目的とする標的分子または標的細胞をサンプルから激減させる方法であって、

(a) 目的とする標的分子または標的細胞を含むサンプルを、

(i) 少なくとも 1 つの配位成分に結合している、目的とする分子と結合することができる少なくとも 1 つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも 1 つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーターであって、前記少なくとも 1 つの配位成分および前記コーディネーターが、同時インキュベーションされたときに複合体を形成することができるコーディネーター

とを含む組成物と接触させること；および

(b) 目的とする標的分子または標的細胞に結合した前記複合体を含む沈殿物を取り除き、それにより、目的とする標的分子または標的細胞をサンプルから激減させることを含む方法。

【請求項 8】

目的とする標的分子の免疫原性を高める方法であって、目的とする標的分子を、

(i) 少なくとも 1 つの配位成分に結合している、目的とする標的分子と結合することができる少なくとも 1 つの配位子と、

(i i) 前記少なくとも 1 つの配位成分と非共有結合的に結合することができるコーディネーター

とを含む組成物と接触させることを含み、

この接触は、前記少なくとも 1 つの配位成分および前記コーディネーターが、目的とする標的分子を含む複合体を形成し、それにより、目的とする標的分子の免疫原性を高めるように行われる方法。

【請求項 9】

前記複合体がポリマー複合体である請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記コーディネーターイオンまたは分子をさらに含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記目的とする分子は、タンパク質、核酸配列、小分子化学物質およびイオンからなる群から選択される請求項 1 または 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】

前記目的とする標的細胞は、真核細胞、原核細胞およびウイルス細胞からなる群から選択される請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの配位子は、増殖因子、ホルモン、核酸配列、抗体、エピトープ標識、アビジン、ビオチン、酵素基質および酵素からなる群から選択される請求項 1 または 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つの配位子は、リンカーを介して前記少なくとも 1 つの配位成分に結合している請求項 1 または 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】

前記配位成分は、キレート化剤、ビオチン、核酸配列、エピトープ標識、電子不足分子および電子過剰分子からなる群から選択される請求項 1 または 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 16】

前記コーディネーターイオンまたはコーディネーター分子は、金属イオン、アビジン、核酸配列、電子不足分子および電子過剰分子からなる群から選択される請求項 1 または 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 17】

目的とする分子を前記沈殿物から回収することをさらに含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 18】

前記第 2 の領域は、2 つより大きいコーディネーターイオンまたは分子と結合することができる請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 19】

前記コーディネーターイオンまたは分子の結合が非共有結合である請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 20】

前記目的とする分子は、タンパク質、核酸配列、小分子化学物質およびイオンからなる群から選択される請求項 2, 3, 5, 7 または 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 21】

前記目的とする標的細胞は、真核細胞、原核細胞およびウイルス細胞からなる群から選択される請求項 2 または 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 22】

前記少なくとも 1 つの配位子は、増殖因子、ホルモン、核酸配列、抗体、エピトープ標識、アビジン、ビオチン、酵素基質および酵素からなる群から選択される請求項 2, 3, 5, 7 または 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 23】

前記少なくとも 1 つの配位子は、リンカーを介して前記少なくとも 1 つの配位成分に結合している請求項 2, 3, 5, 7 または 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 24】

前記配位成分は、キレート化剤、ビオチン、核酸配列、エピトープ標識、電子不足分子および電子過剰分子からなる群から選択される請求項 2, 3, 5, 7 または 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 25】

前記コーディネーターイオンまたはコーディネーター分子は、金属イオン、アビジン、核酸配列、電子不足分子および電子過剰分子からなる群から選択される請求項 2, 3, 5, 7 または 8 のいずれかに記載の方法。